非核の政府を求める石川の会　会報

非核・いしかわ

事務局〒920-0848
金沢市京町28-8
石川民医連労働組合気付
Tel 076-251-0014
郵便振替口座
00760-0-15689

会報込年会費3000円

非核5項目

①全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
②国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する。
③日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
④国家補償による被爆者援護法を制定する。
⑤原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

二〇一五年、被爆七〇年を核廃絶の転換点に

被災六一年　3・1ビキニデー　開かれる

六一年前、太平洋・ビキニ環礁で米国の水爆実験により被爆半年後に死亡した久保山愛吉さん（「第五福竜丸」無線長、享年四〇歳）の墓参行進と墓前祭が三月一日(日)、静岡県焼津市内で行われた。主催は被災六一年三・一ビキニデー静岡県実行委員会と日本宗教者平和協議会。ＪＲ焼津駅南口に集合して、久保山さんの墓がある弘徳院（焼津市浜当目）まで歩く墓参行進には悪天候にもかかわらず全国各地から一六〇〇人の参加者があり、長蛇の列が続いた。

石川県からは河﨑俊栄住職（石川県宗教者平和協議会会長）と原水爆禁止石川県協議会から四人が参列した。

◇　◇　◇

同日午後から焼津市文化センターにて「被災六一年二〇一五年3・1ビキニデー集会」が開かれ、第二会場を含めて二〇〇〇人の参加があった。主催は原水爆禁止世界大会実行委員会と同集会静岡県実行委員会。

集会では静岡県原水爆被害者の会会長の主催者挨拶、焼津市長の来賓挨拶、世界大会実行委員会による主催者報告等があり、次いで行われた〝ビキニ被災事件に関するミニ座談会〟と〝海外代表によるスピーチ〟が注目を集めた。この二つの要点を紹介する。

久保山愛吉さんの遺影と3・1ビキニデー集会の海外代表らの先導による墓参行進

久保山愛吉さんの墓がある弘徳寺にて墓前祭が盛大に行われた

花鳥風月

会報「非核・いしかわ」は今号で二〇〇号を迎えました▼第一号は一九九〇年八月、「非核の政府を求める石川の会ニュース」名で発行されました。二〇一一年一月の一五〇号からＢ４版がＡ４版の紙面になり、複数の編集体制となりました▼二〇一一年六月、「非核・いしかわ」と改名し、同時に『茶の間で家族とご一緒に読める』内容にしようと編集委員会で申し合わせました▼過去の会報を今回パラパラとであるが読み返しました。非核平和情勢中心の編集から、詩、川柳、絵画、絵手紙、各種講演録、リレー・エッセイにコラム、写真も入り豊富な内容になりました▼一五七号編集後記に「前号の意見と感想が届き、『難しくなっている』とご指摘もありました」とあり、そのことで編集委員のコメントもあります・・・が▼二〇〇号を節目に、字数の吟味、間のある行間、欲張らない編集など、「読みたくなる会報」へ更に努めていきたい。（平）

■ビキニ被災事件に関するミニ座談会

最初に第五福竜丸の乗組員だった大石又七さんが病躯をおして登壇され、メッセージを紹介された。

ミニ座談会の4人の出席者、左端がビキニ水爆実験被爆者の大石又七さん

高知・太平洋核被災支援センター事務局長の山下正寿さん

「高知県の幡多高校生ゼミナールでは一九八五年からビキニ被災事件を調査して三〇年になる。NHK広島の調査により二〇一三年にアメリカ公文書館でビキニ被災船リストが発見された。私たちはこの文書の出所である外務省に情報開示請求し、昨年一一月にビキニ被災船資料が開示された。放射能汚染マグロを廃棄した漁船は九二隻、廃棄しなかったけれど死の灰を浴びた漁船は一〇〇〇隻を超えたことが明らかになり、引き続き本格的な調査を進めていく。ビキニ事件は地球規模の放射能汚染であり、核実験の影響は地球全体の深刻な問題である。ビキニ事件を教訓にして、核廃絶の運動を展開してほしい。」

当時、焼津中学校の二年生で署名を呼びかけた杉村征郎さん

「第五福竜丸の母港を持つ焼津市の中学生としてできることはないかと生徒会で議論して、亡くなられた久保山愛吉さんの奥さん、すずさん宅を見舞いに行ったり、また隣町の中学校生徒会長と相談して『原水爆禁止の署名呼びかけ文』を作り、署名を呼びかけた。この署名簿が二〇〇九年にNHKの調査で第五福竜丸記念館に保存されていることがわかり、五〇年ぶりに焼津市に里帰りし、現在は焼津市歴史民俗資料館で展示されている。私は中小企業団体役員であり、五〇数年間ビキニ事件との関わりは封印してきたが、この報道以降は市民団体のみなさんと共に歩んでいる。3・11東日本大震災で福島原発事故が発生した。原爆と原発の根っこは同じでヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、フクシマの問題は一緒に考えていくことが大事である。」

前焼津市長の清水泰史さん

「焼津市が平和首長会議に加盟した二〇〇九年に長崎で開かれた第六回総会に出席し、長崎市長、広島市長から歓迎していただいた。二〇一〇年NPT再検討会議に平和首長会議の一員として参加し、焼津市民の半数以上の署名（七四〇〇〇筆）を国連本部に提出してきた。二〇〇九年にはビキニ事件を後世に語り継ぎ、核廃絶の平和運動を熱心に行っている個人・団体を表彰する〝焼津平和賞〟を創設し、二〇一一年から広島・長崎の平和祈念式典に中学生を派遣する事業を開始した。平和は一人では実現できない。一人ひとりが平和を願い、みんなで輪になって進んでいくこと、そして行動を続けることが大事である。」

■海外代表によるスピーチ

「二〇一五年NPT・被爆七〇年へ　核兵器のない世界に向けて」

アメリカフレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガーソンさん

「二〇一〇年のNPT再検討会議のとき、私たちの国際会議で潘基文国連事務総長は〝核廃絶は政府だけの力ではできない。政府に対して働きかける人々の運動が大切〟と演説した。しかし、核保有国は二〇一〇年NPT合意の約束履行をずーっと拒否しており、核をめぐる情勢は深刻な状態にある。私たちはNPT要請のため国際企画委員会をつくり、世界の反核平和団体にニューヨーク国際共同行動への参加を呼びかけている。国際行動の呼びかけは（一）次のNPT再検討会議が必ず核兵器全面禁止条約の交渉開始の道筋になること、（二）NPTが終わった後も長期的に大きな平和運動をつくること、（三）核兵器廃絶の運動、気候変動に反対する運動、経済的正義や社会的正義をもとめる運動と幅広く手をつなぐこと。ニューヨーク行動の後、アメリカ各地を訪問されるときには草の根でがんばっているアメリカの平和活動家を励まして

アメリカ、韓国、マーシャル諸島共和国からの海外代表3人によるスピーチ

ほしい。次はニューヨークでお会いしましょう。」

韓国・参与連帯のイ・ミヒョンさん

「七〇年前に広島・長崎に原爆投下されたときは日本にいた韓国人、朝鮮人も被爆した。しかしこの人たちの被爆体験を韓国で聞くことはまれです。韓国では広島・長崎で起こったこと、原爆がどれほど恐ろしいかを知らない人が本当に多い。核兵器の危険性について韓国のなかで意識を高めていきたい。また韓国政府は核兵器の人道的影響に関する共同声明に賛同していない。私たちは国会議員に要請し、韓国政府が国際社会の流れに合流し、核兵器の人道的影響を認めて、核兵器廃絶の行動をとるよう働きかけていく。韓国からもニューヨーク行動に参加します。北東アジアの非核化のために一緒に声を挙げましょう。」

マーシャル諸島共和国島民代表のピーター・アンジャインさん

「一九四六年から一九五八年の間にアメリカはマーシャル諸島で六七回の核実験を行った。この威力は広島型原爆の一・六個を毎日毎日一二年間爆発させることに相当する。アメリカは核実験場から七一マイルのロンゲラップ島に八六人の島民がいることを知りながら、一九五四年三月一日、核実験〝ブラボー〟を強行した。爆発後二日以内に放射性降下物（死の灰）が落ちてきた。死の灰による急性症状だけでなく、ロンゲラップでは多くの女性が流産、死産を繰り返し、奇形の子どもたちが生まれた。この被害は誰も元通りにすることはできない。しかし私たちにできることがある。それはこのような悲惨なことが他の誰にも繰り返されないようにすること。マーシャル諸島の政府は二〇一四年四月二四日、アメリカを含む九つの核保有国を国際司法裁判所に提訴した。〝いまでなければ　いつやるのか〟二〇一五年NPT再検討会議と被爆七〇年を核兵器廃絶の転換点にするために意気高くすすみましょう。」

◇　◇　◇

「核兵器のない世界」実現のため私もニューヨーク行動に参加します

近松美喜子

広島・長崎の原爆投下から七〇年、核兵器と人類は共存できない、核兵器のない平和な世界への願いは揺るぎのない大きな国際世論となり、「国際政治の目的」となって大きく動いています。

国連総会では「核兵器禁止条約の速やかな交渉開始」「核軍備の縮小撤廃」等の決議が多くの参加国の賛成で繰り返し採択されています。しかし、圧倒的多数で採択された核軍備縮小、撤廃の一連の決議もアメリカやイギリス、フランスなどの核保有大国は反対をし、「核兵器なき世界」の実現を、期限を設けず究極の目標にし、核軍備に固執しています。

核兵器と人類は共存できない、核の惨禍は自然災害ではありません。使用するのも、完全廃絶、禁止するのも人間です。出来ないことはありません。

そんな中で五年に一度のNPT再検討会議が今年開かれます。前回二〇一〇年のNPT再検討会議では核兵器のない世界を願う国際世論の高まりの中で、核保有五大国を含める全会一致で「核兵器のない世界」を実現することに合意しました。しかし、実行はされていません。今回の会議はそのことを核保有国に期限を切って確実に実行することを迫る歴史的チャンスだと思います。

毎年八月の登校日、中学校の門前で署名を呼びかけると子どもたちは次々と応えてくれます。「これ大事な署名なんやぞ」と友達を呼び止める子もいます。

集団的自衛権行使容認で「戦争する国」へ舵をきった安倍内閣、紛争がなくならない世界の状況、だからこそ戦後七〇年のこの節目の年に、核兵器のない世界へ確かな道筋がつけられるよう、NPT再検討会議が歴史的役割を果たすよう、子どもたちをはじめ地域の皆さんから託された「核兵器のない世界」への思いを持ってニューヨーク行動に参加してきます。

四月二五日に出発するまで一筆でも多くの署名を集めていきたいと思います。

非核の政府を求める石川の会第27回総会・記念企画

2015年、被爆70年を核廃絶の転換点に

――NPT要請報告・懇談会　ご案内――

日　時	2015年5月31日（日）13：30～15：30
会　場	金沢市近江町交流プラザ4階集会室
報告者	NPT要請行動参加者
進行役	井上英夫（本会代表世話人、金沢大学名誉教授）
主　催	非核の政府を求める石川の会
後　援	NPT要請に代表派遣する県内団体（折衝中）

北陸原水協学校／川田忠明講演要録

（一九九号続編・後半部分）

講師の川田忠明さん（原水爆禁止日本協議会常任理事）

「人道的影響」の追求と日本政府の態度

国際政治の場では核兵器は非人道的であり、正面突破で核兵器をなくそうという気運が高まっている。この動きが始まったのは二〇一二年五月、ウイーンで開かれたＮＰＴ再検討会議準備委員会でオーストリア、ノルウェー、スイスが中心となり「核軍縮の人道的側面に関する共同声明」が一六か国連名で出されてからである。その後、国連総会やＮＰＴ準備委員会が開かれる毎に共同声明への賛同は三四、八〇、一二五と増え、二〇一四年一〇月には一五五か国が共同声明に加わった。

核兵器の非人道性は被爆者の方々が長年にわたって訴えてきたことである。私たちの核廃絶運動がようやく国際政治の場に届き、動き出したといえる。私たちの運動が根底にあってこのような大きな変化が生まれていることを、潘基文国連事務総長も「被爆者の尽力のおかげで、核兵器使用のもたらす壊滅的な人道的影響が理解され…大多数の政府は強い危機感をあらわにしています」（二〇一四年原水禁世界大会メッセージ）と述べている。

昨年一二月、ウィーンで開かれた第三回核兵器の人道的影響に関する国際会議には過去最多の一五八か国の参加があり、核保有国からも今回初めて米英が参加した。米国のＲ・ゴッテモラー国務次官代行は「（人道的影響を）記憶に刻むことは、我々の責務だ。核使用の影響―健康上の破滅的影響を含め―を深く理解している」と述べ、英国のＰ・ジョーンズ外務省・防衛国際安全保障局長も「（人道的影響のひろがりは）核軍縮が進んでいない不満の表れだ。その不満は分かる」と言明せざるを得ないところまで追い詰めている。

被爆国日本の果たす役割が問われているが、二〇一二年一二月の国家安全保障戦略では、「核抑止力を中心とする米国の拡大抑止（＝核の傘）は不可欠」とし、岸田文雄外相は二〇一四年一月、「核兵器の使用を個別的・集団的自衛権に基づく極限の状況に限定する」と核兵器使用を肯定した演説を行っている。日本政府は二〇一四年一〇月の国連総会にて人道的影響の共同声明に賛同した際に「日本を取り巻く厳しい状況から日米の安全保障上の取り決め（＝核の傘）は確固として維持する」と表明し、国際社会の大きな批判を浴びた。しかし、当初は反対していた日本政府が共同声明に賛成に転じたのは私たちの運動の反映であることは明らかである。

世論の役割・署名の力

「核兵器のない世界」に向けての流れは、一九九六年＝マレーシアの核兵器禁止条約の交渉開始を皮切りに、その後非同盟諸国、新アジェンダ連合、二〇一二年からの核兵器の非人道性の追求など様々な動きがあるがこの流れを一つにしていくことが大事である。

具体的な期限を決めて目標を定めて拘束力のあるやり方で核兵器をなくすことでは一致している。これらの国々を総結集していけば核保有国や同盟国を包囲し、打ち破っていく大きな力になる。ここに展望がある。

署名がなぜ大切か？

アメリカでは一九五〇年＝朝鮮戦争、一九五四年＝ベトナム・ディエンビエンフー、一九五八年＝台湾海峡など核兵器使用が検討された事例が一三回もある。

アメリカはなぜ核兵器を使用しなかったのか。一九五四年五月の米国務省内メモに「原子爆弾の使用は、アジアの世論と同盟諸国の我々に対する態度という点で深刻な問題をひきおこす」と記載されている。また当時の国務長官Ｈ・キッシンジャーは著書『核兵器と外交』（一九五七年）で「全世界で五億人以上の署名が集まったという、一九五〇年のストックホルム平和アピールにはじまる平和運動は、組織的な運動を行って、核兵器の使用に対する大衆の抗議、反対運動を促進してきた。（中略）宣伝として放置したくなるが、それはきわめて危険である」と記述している。

一九五四年三月一日のビキニ水爆実験の甚大な被害を契機に、アジア＝日本の反核世論が急速に高まり、有権者の半数以上の署名を集めた反核運動と世論の結集をみてアメリカは核兵器使用を断念した。これが署名の威力である。

アンゲラ・ケイン国連上級代表は、二〇一四年五月、ＮＰＴ第三回準備委員会の際に「ニューヨークへ署名を持って大挙して来て、再検討会議に大きな影響を与えてほしい」「国連本部の総会場の改装がなったら改めて、みなさんの署名も展示したい」と話されて

いた。同年八月、原水禁世界大会では「みなさんは国連に多くのパートナーがいる。NGOの間でも広い支持を得ている」「日本で始まった〝核兵器全面禁止のアピール署名〟が数百万人分を集めていることは大きな励ましです」と激励いただいた。

二〇一四年原水禁世界大会・国際会議では「二〇一五年四月、ニューヨークでとりくまれる国際会議や平和行進などの行動に結集しよう」と宣言した。世界大会が提起した①「原爆展」、被爆者証言など、ヒロシマ・ナガサキの実相をひろげること＝これは国際政治では人道的影響の追求そのものである。②核兵器禁止条約の交渉開始をもとめる「核兵器全面禁止のアピール」署名を集めること＝国際政治の流れと完全に一致している。文字通り核兵器の人道的影響をひろげ、核兵器禁止条約の交渉開始をもとめる二つの流れを統一したものが私たちの運動である。このような草の根運動は多くの政府代表や国連幹部の意見と合致しており、国際世論をつくっていくうえで大変重要になっている。

（文責　非核いしかわ編集部）

◎本稿は二月一日、富山県教育会館で開かれた二〇一五年北陸原水協学校の講演要録です。

「建国記念の日」反対集会・報告

八十路の私が今なお
紫金草合唱団で歌い続ける理由
（南京大虐殺の謝罪・責任・未来）

土田光孝

講演する
土田光孝さん

一、気になること　皇室・神社

①いつも気になっていることがあります。「久保市」（橋場・旧森八の裏通りにある神社）の社殿前にある対の狛犬の台座の文字です。『聖戦第四年興亜奉公・新支那中央政府樹立・紀元二千六百年』・・一九三七年七月七日に勃発した日中戦争をアジアのための正義の戦争、聖戦としていること。それから四年目の一九四〇年（昭和一五年・紀元二六〇〇年）に日本の傀儡政権である王兆銘国民政府（首都は南京）が反共を旗印に成立したこと、そしてその年が神武天皇即位（二月一一日・・架空であることが定説）から二六〇〇年たった年であることが、敗戦後の今も台座に刻まれたままになっているのです。

②次に気になること、「日本は今年、建国から二六七五年を迎える。現存する最古の国家だ。エジプトや中国など日本より古い国はあったが、全て滅びた。なぜ長期間続いているか。単純に〝いい国〟だからだ」（一月一六・一七日北國）。東急ホテルで開かれた北國新聞政権懇話会一月例会、講師竹田恒泰氏（明治天皇のやしゃご）の講演の冒頭の言葉です。

③昨年の金沢市長選挙の時、山野之義候補の集会にあの元航空幕僚長・田母神俊雄氏が応援団としてかけつけたことの報道（二〇一四年九月二九日北國）。

④高円宮家の次女典子さんの結婚・・「一〇月二日午前に皇室の祖神とされる天照大神や歴代天皇・八百万神を祭る宮中三殿に参拝して結婚を報告する〝賢所・皇霊殿・神殿に謁するの儀〟が行われた」（二〇一四年一〇月三日北國）。

⑤次の二つの記事も気になりました。皇太子・秋篠宮がそれぞれ自分のお子さん内親王・親王をともなって伊勢神宮を参拝なさったこと、北國新聞には皇室の祖先をまつる伊勢神宮への参拝と報道されていました。

⑥佳子さんの事・・「佳子さまは三月六日初めて単独で伊勢神宮へ参拝、成年を迎えた事を報告された。皇室の祖神とされる天照大神をまつる内宮では…正殿の前にある内玉垣南御門で玉串を神前にささげ拝礼した」（二〇一五年三月七日北國）、「満二〇歳の誕生日を迎えられた秋篠宮家の次女佳子さま。一二月二九日午前には皇室の祖神とされる天照大神や歴代天皇等を祀る皇居内の宮中三殿を参拝し成人を報告された」（二〇一四年一二月三〇日北國）

天皇の「人間宣言」が出されているのにもかかわらず、天皇を中心とする皇室一家だけは「神の裔（すえ）」であるという意識を持たれている事実、そのことを丁寧に報道するマスコミが気になってたまりません。

二、国体護持と天皇の戦争責任

国体護持を至上の課題とし、皇祖皇宗に対して強烈な使命感を持たれた昭和天皇のことを考えざるをえません。皇室会議で「国体護持ができなければ戦争は継続いたしますか」と問われた朝香宮の質問に「勿論だ」と答えた天皇。戦後の人間宣言（一九四六年一月一日）の案文作成の時「天皇自身が現御神（あまつみかみ）であるとする観念は否定するという原案には賛成なされたが、天皇が神の裔（すえ）であることの否定には反対の態度をとられた」（木下道雄侍従次長の側近日誌）。

この国体護持のための敗戦前の最高戦争指導者会議・閣議・御前会議では議論が紛糾、その間に東京大空襲・沖縄戦・満州開拓団の口にいえない苦難・広島長崎の原爆・全国各地の空襲（八月一五日まで）、そしてシベリヤ抑留の犠牲者・・・敗戦決定（天皇聖断）の遅れから生じたといえましょう。「ポツダム宣言受諾の際の聖断と同じような形で、対米英開戦も天皇の決断があれば阻止できた」（近衛）、重要な軍事情報が全て集中されていた文字通り大元帥が昭和天皇でした。

三、神社本庁と日本会議

神道解体の不充分（皇室祭祀はそのまま）から一九四六年に「神社本庁」という政治的宗教集団が全国の神社を再組織して生まれました。（イ）祭祀を重んじ大御代（おおみよ）の弥栄（いやさか）を祈念する。（ロ）伊勢神宮を本宗と仰ぐ。（ハ）神社本庁は敬神尊皇の教学をおこす。この考えを根底に靖国神社の国営化・建国記念の日の設定・元号法案の制定などに取り組み、その後「日本を守る国民会議」と合流して一九九七年「日本会議」を結成しました。

この「日本会議」（右翼改憲団体の総本山）・・侵略戦争の美化肯定・靖国派と称する歴史観で南京大虐殺や日本軍の慰安婦はでっちあげである、教科書からこの記述を削除すべき、大東亜戦争はアジア解放のための聖戦であると主張しています。この思想を持つ「日本会議議連」の所属議員・・第二次安倍内閣の閣僚一九人のうち一五人が所属しています。この安倍政権と結びつきの強いＮＨＫ経営委員、そして会長までが「南京大虐殺はなかった。慰安婦問題はどこの国にもあった」と言い出しています。また各地で憲法改正をめざす国民運動を展開しているのもこの「日本会議」です。

◎本稿は二月一一日、『建国記念の日』反対・平和と民主主義を考える集い」における土田光孝さんの講演要旨に加筆したものです。

被爆70周年記念事業

映画「アオギリにたくして」上映会
＆中村里美ピースライブ

日　時：7月26日（日）13：00
会　場：石川県文教会館ホール
参加券：大人1,500円　高校生以下500円
主　催：石川県原爆被災者友の会
共　催：反核平和おりづる市民のつどい実行委員会、平和サークルむぎわらぼうし

非核石川の会　リレーエッセイ

反核平和マラソン

森尾よしあき

富山からの引き継ぎ式でメッセージを披露

ゼッケン「核兵器をなくそう」を胸につけ、反核平和マラソンに取り組んで一九年になります。

国民平和大行進が津幡町九折（つづらおり）で、引き継ぎが行われる際にいっしょに参加します。富山のランナーから引き継ぎ、津幡町役場までの約八キロを走ります。そして、石川県から福井への引き継ぎのために、加賀市役所から福井の県境までの八キロを走ります。

そして、八月の第一日曜日は、羽咋市役所から城北クリニックまでの四五キロを途中で、交代交代で走ります。夏のビッグイベントです。

県内のランナーに呼びかけ、はじまった反核平和マラソンですが、一九年間続いてきました。

走っている途中で、広島で被爆したという方に出会ったり、ガンで闘病していた方が走りたいと同行してくれたり、三〇度を超える夏の暑さの中で、ドクターから中止の意見もありましたが、氷で冷やしながら走ったりするなど数々のドラマがありました。

全国では、東京から広島まで反核平和マラソンが行われています。韓国やフランスからも参加するなど反核平和マラソンは反響が広がっています。

金沢市との姉妹都市となっているフランス・ナンシーや韓国全州市とも反核平和マラソンで交流できればと願っています。

元気に、楽しく反核平和マラソンが続いていくようこれからも走りたいと思います。

富山のランナーと一緒に記念撮影
（2014年6月13日、津幡町九折にて）

非核・平和のひろば

「直ちに影響はない」という言い回し

〝Mimiの日々是好日〟というブログを読んでいて目にとまった一節があった。**【無関心】――　知識のない人から徐々に体が蝕まれ、死んでいく。**

放射能安全教をマスコミがまき散らし、それを一般国民が信じ、さらに放射能を地球にばらまき続けて、止めようとすることすらやっていない。世界で最大のテロ国家となった日本。合い言葉は、「直ちに影響はない」There is no immediate danger.

思えば「3・11」は、会報『非核・いしかわ』が新紙面になった直後に発生した未曽有の地震・津波災害だった。二〇一一年三月二五日号での核・エネルギー問題情報センター理事の児玉一八氏の報告『福島第一原発事故について』に続いて、四月二〇日号の福島原発事故・緊急講演会『何が起こったのか？これからどうなるのか？』では、日本科学者会議京都支部・深尾正之氏講演記事など原発災害問題の本質に迫る諸企画を、装い新たな『非核・いしかわ』は素早く応答してこれらを掲載し、会員の関心――東日本大震災・原発事故において何が真実であり何を学ぶのかに注目してきた。

失われた二〇年――思えばこの閉塞の時代は、日本をなんと恐ろしい国にしてしまったことか！　二〇一一年三月一一日からを振り返ってみると、原発事故を報告する官房長官が記者会見で発する「直ちに影響はない」は、政府の合言葉だった。

既に未曽有の事故から四年を数えることになるが、**「二〇一六年には日本の子供たちも悲惨な状況になる」**という恐るべき報告「チェルノブイリ・ハート（*Chernobyl Heart*）」がある。――この地域には多くの子どもたちが、生まれつき未知の心臓疾患や放射線障害に苦しんでいる。――

「直ちに影響はない」という言い回しが、そのとき何を想定していたのか！と思うと、失われたもののあまりの大きさに慄然とする。（こ）

詩人会議かなざわ「独標」より

私の街に

土井和子

呉羽山の展望台からは
大パノラマの立山連峰が聳え
その山並みの追力に圧倒されながら
いつも変わらぬ小さく縮こまった
人生に悔いだらけの私の街が見える
見慣れた風景に違和感が拭えないのは
いつの間にか我が物顔にぐるりと
曲線を描いて続く新幹線道路である

日本海の海原の青
流れるようなラインを
羽衣のようになびかせて
W7型の北陸新幹線が
県民の悲願を乗せ
北陸路を走ります

試験走行にアナウンサーが絶叫し
お祭り騒ぎの市民の笑顔を映すが
金沢で乗り換えを強いられる
大阪方面を利用する乗客の
不自由は口を開ざし沈黙のまま
新幹線が通れば
大きな繁栄が約束されると
不確かな皮算用しているモノたち
富山訛りに外国語を混ぜたような
不似合いな建物の完成を急がせて
新幹線の開業に私の街は大はしゃぎ

富山平野を三分するように無機質で
街に馴染まないコンクリートの道路が
立山連峰の向こうまで
延々と続いている

《編集室より》

◎今年の流行語候補
今年の流行語「問題ない」
……問題ないから答えもない！
国債の増発「問題ない」
……日銀で引き受け問題ない！
そして恐ろしいことに
……問題と分かった時はもう遅い！
隠れたブラックの流行
……早く気づくことが死命を制す！（こ）

◎次回四月号は二〇一号。これを機会に紙面を大きく変えることにしました。折しも新年度。何やら奇縁を感じながら、新たな気持ちで再スタートです。もう一つお知らせです。会報コラム〝花鳥風月〟集を四月に発行します。コラムは毎号交代で執筆し、その時期の多岐にわたる話題について執筆子の踏み込んだ考えが示され、充実していると好評です。これを会員拡大につなげたいものです。（編集長）

お願い

三月三一日は年度末になります。会費納入をよろしくお願い申し上げます。

常任世話人会

「被爆者が描いた体験画展」⑥

石川県原爆被災者友の会　中田喜重

長崎で被爆

防空壕の岩穴はいっぱいの人で、中は火傷や血と死人の日々で、気分が悪くなり、外に出てきたところ。死に迫った人々は「水、水」と言いながら、バタバタと死んでいく。

まるで「地獄」

川の中では、人と馬牛がたくさん死んでいる。川の水が天に上る。水柱や、火柱が立っている。

1977 年 7 月 7 日、中田喜重撮影

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

近松美喜子

≪非核平和・行事予定≫

月	日	曜	時	行事名	場所
3	22	日	15:00	憲法市民集会・八法亭みややっこ「憲法噺」	石川県教育会館ホール
	29	日	10:00	石川県保険医協会講演「山出保・ものづくりまちづくり金沢の物語」	ホテル金沢2階
4	3	金		県議会議員選挙公示→12日投票	
	11	土	9:30	映画「アオギリにたくして」試写会＆アオギリ植樹会	金沢市松ヶ枝福祉館4階
	19	日		市議会議員選挙告示→26日投票	
	21	火		町議会議員選挙告示→26日投票	
	25	土	8:30	2015年NPT再検討会議壮行会	小松空港1階会議室「加賀」
5	1	金	9:00	2015年メーデー	本多の森公園
	3	日 休	14:00	平和憲法施行68周年県民集会（講演　五十嵐仁さん）	本多の森ホール
	10	日	10:00	NPO法人はだしのゲンをひろめる会第3回総会	金沢市近江町交流プラザ4階
	23	土	14:00	戦争をさせない石川の会「安保法制学習講演会」（孫崎亨さん）	石川県教育会館ホール
	30	土	14:00	志賀原発を廃炉に　訴訟原告団総会	石川県地場産業振興センター
			15:00	講演　2005年志賀原発2号機住民勝訴判決「井戸謙一元裁判官金沢で語る」	
	31	日	13:30	「NPT要請参加者報告と懇談会」 非核の政府・石川の会主催	金沢市近江町交流プラザ4階
			15:30	非核の政府を求める石川の会第27回総会	同上
6	7日（日）～12日（金）			2015年国民平和大行進県内能登路コース	実行委員会の日程表で確認を
	13日（土）～24日（水）			同上　日本海コース石川県内加賀路行進	同上
	28	日	14:00	紫金草合唱団15周年記念公演	石川県文教会館ホール
7	11	土	14:00	石川革新懇総会と講演（沖縄革新懇代表）	金沢市近江町交流プラザ4階
	26	日	13:00	映画「アオギリにたくして」上映会＆ピースライブ（中村里美さん）	石川県文教会館ホール

＊毎週金曜日　18:30　どいね原発アピール行動　金沢駅東口　　祝日は休日としています

＊毎月6日、9日　12:00　核廃絶署名6・9行動　金沢市Mza前